

令和4年12月市議会定例会議提出議案

令和4年12月1日提出

区 分	件 数
予算関係	6
条例関係	9
その他議案	5
報告	1
計	21



福島市
FUKUSHIMA CITY

*この資料は、主な改正点等について、参考まで記載したものです。

【予算関係】

- 1 議案第128号 令和4年度福島市一般会計補正予算（第11号）
- 2 議案第129号 令和4年度福島市水道事業会計補正予算（第3号）
- 3 議案第130号 令和4年度福島市下水道事業会計補正予算（第2号）
- 4 議案第131号 令和4年度福島市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）
- 5 議案第132号 令和4年度飯坂町財産区特別会計補正予算（第1号）

【条例関係 その①】

6 議案第133号 福島市個人情報の保護に関する法律施行条例制定の件

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律による個人情報の保護に関する法律（以下「改正法」という。）の一部改正に伴い、福島市個人情報保護条例を廃止し、法律の施行に必要な事項を規定する条例を設ける。

【改正法の概要】

各地方公共団体が、これまで個別に定めていた個人情報保護制度を全国共通のルールに一元化

【主な内容】

- (1) 開示請求に係る手数料 ⇒ 無料（写しの交付に係る費用は実費負担）
- (2) 開示請求に対する開示決定等の期限 ⇒ 開示請求があった日から14日以内
- (3) 年1回、保有個人情報の開示請求等の状況を公表

（令和5年4月1日から施行）

【条例関係 その②】

7 議案第134号 福島市議会議員及び福島市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部を改正する条例制定の件

公職選挙法施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

【主な改正内容】

物価変動を反映した公費負担限度額の引上げ

	改正前	改正後	備考
ビラ作成	7円51銭	7円73銭	1枚あたり
ポスター作成	27円50銭	28円35銭	1枚あたり
〔ポスター掲示場数が500を 超える場合〕	495,405円	507,843円	基礎額
自動車借入れ	15,800円/日	16,100円/日	1台あたり
燃料費	7,560円/日	7,700円/日	1台あたり

(公布の日から施行)

【条例関係 その③】

8 議案第135号 福島市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する 条例制定の件

国家公務員退職手当法における運用方針の改正に伴い、所要の改正を行う。

【主な改正内容】

(1) 非常勤職員に対する退職手当の支給要件の緩和

(現 行) 勤務日数が18日以上の月が連続して6月を超えること



(改正後) 要勤務日数が20日に満たない月の場合、
20日と要勤務日数との差を18日から減じた日数以上

(公布の日から施行)

【条例関係 その④】

9 議案第136号 福島市手数料条例の一部を改正する条例制定の件

(1) 都市の低炭素化の促進に関する法律施行規則の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

【主な改正内容】

低炭素建築物として認定の対象を変更

改正後	(a) 建築物全体 (b) 複合建築物の非住宅部分 (c) 複合建築物の住宅部分
改正前	(a) 建築物全体 (b) 住戸の部分のみ (c) 建築物全体及び住戸の部分

(公布の日から施行)

(2) 宅地造成等規制法の一部を改正する法律（以下「改正法」という。）の公布に伴い、所要の改正を行う。

【主な改正内容】

- ・改正法経過措置により現行の措置が継続されるため、手数料の根拠規定を効力が継続する改正前の宅地造成等規制法とする改正

(改正法の施行の日から施行)

【条例関係 その⑤】

10 議案第138号 福島市文化振興条例制定の件

福島市ならではの特色ある文化を守り、持続的に発展させていく取り組みを推進していくため、条例を設ける。

【主な内容】

- (1) 文化振興に関する施策推進にあたっての基本理念を規定
- (2) 市の責務のほか、市民、文化活動を行う者、事業者それぞれの役割を規定
- (3) 文化振興施策の基本的な方向性を規定
- (4) 文化振興のための基金の設置を規定

(令和5年1月1日から施行)

【条例関係 その⑥】

11 議案第139号 福島駅前交流・集客拠点施設の公共施設等運営権に係る実施方針に関する条例制定の件

民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律の規定に基づき、福島駅前交流・集客拠点施設の公共施設等運営権に係る実施方針を定めるため、条例を設ける。

【主な内容】

- (1) 施設運営事業者の公募にあたり、設置の目的、民間事業者の選定の手続き、運営等の基準、業務の範囲、利用料金に関する事項を規定

(公布の日から施行)

【条例関係 その⑦】

12 議案第140号 福島市保育士等奨学資金貸付条例の一部を改正する条例 制定の件

福島市保育士等奨学資金借入者の就労対象施設拡充のため、所要の改正を行う。

【主な改正内容】

保育士の配置を必要とする市内の児童福祉施設を対象に加える。

- (1) 児童厚生施設
- (2) 児童養護施設
- (3) 障がい児入所施設
- (4) 児童発達支援センター
- (5) 児童心理治療施設
- (6) 認可外保育施設

(公布の日から施行)

【条例関係 その⑧】

13 議案第141号 福島市水道局企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件

地方公務員法の一部改正及び福島市職員の高年齢職員部分休業に関する条例制定に伴い、所要の改正を行う。

【主な改正内容】

- (1) 定年年齢の引上げに伴う「定年前再任用短時間勤務」制度を規定
- (2) 高年齢職員（55歳以上）の部分休業取得中の給与の取扱いを規定

(令和5年4月1日から施行)

【その他議案 その①】

14 議案第142号 民事調停申立ての件

市営住宅に係る滞納家賃の支払いに関して、調停を申し立てる。

(1)申立先 福島簡易裁判所

(2)相手方 5人

15 議案第144号 字の区域の変更の件

大波の一部の地区における地籍調査の実施に関連して、字の区域の適正化を図るため、字の区域の変更を行う。

【今回の区域面積】 大波 0.28km²

【その他議案 その②】

16 議案第145号 指定管理者の指定の件（福島市写真美術館）

福島市写真美術館について、指定管理者を指定する。

(1)指定管理者 公益財団法人 福島市振興公社 理事長 川村栄司

17 議案第146号 指定管理者の指定の件（福島市産業交流プラザ（ふくしま情報ステーション、シェアオフィス、コワーキングスペース、ミーティングルーム、展望ラウンジ及び駐車場に限る。））

福島市産業交流プラザの一部について、指定管理者を指定する。

(1)株式会社OMJプラザ 代表取締役 中野友登

【報告】

18 報告第24号 専決処分報告の件

【先議議案】

19 議案第127号 令和4年度福島市一般会計補正予算（第10号）

20 議案第137号 福島市いじめ問題対応改善有識者会議設置条例制定の件

いじめ問題対応改善有識者会議を設置し、本市におけるいじめ問題への対応を改善し、組織的にいじめ問題への対応及び支援を行うための連携体制を構築するため、条例を設ける。

【主な内容】

- (1) 市長及び教育委員会が共同で有識者会議を設置
- (2) 有識者会議の組織及び運営に関して、所掌事務、委員の任期等、必要な事項を規定

（公布の日から施行）

21 議案第143号 損害賠償の額の決定並びに和解の件

市立小学校で発生したいじめ重大事案に係る裁判外紛争解決手続による申立てについて、損害賠償の額を決定し、和解する。

- 【主な内容】
- ①損害賠償
 - ②市長及び教育長の謝罪並びに関係者の処分



福島市
FUKUSHIMA CITY

令和4年度

12月補正予算(一般会計)主な補正内容

1. コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策関連 (追加)
2. 新型コロナウイルス感染症対策関連 (追加)
3. 令和4年3月16日福島県沖地震対応関連 (追加)
4. その他 (12誘導心電図の整備拡充など9事業)

補正予算額(一般会計)

46億1,922万円

(単位:千円)

事業費 合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
4,619,219	1,498,953	110,936	820,137	2,189,193

※一般財源のうち832,000千円は特別交付税

【参考】令和4年度予算累計額(一般会計)

1,320億2,061万円

NO.

1

コロナ禍における原油価格・物価高騰等
総合緊急対策関連（追加）

2,700万円

（単位：千円）

事業費合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
27,000	—	—	—	27,000

※原油価格・物価高騰対策関連予算

累計予算額 44億4,994万円

物価高騰等に直面する農業者支援

農業用燃油価格高騰対策支援

補正額：23,000千円

高騰している燃油(A重油・灯油)代を支援します。
特に、来期以降の燃油高騰に備える農家に対しては、補助率を拡充します。

【事業内容】

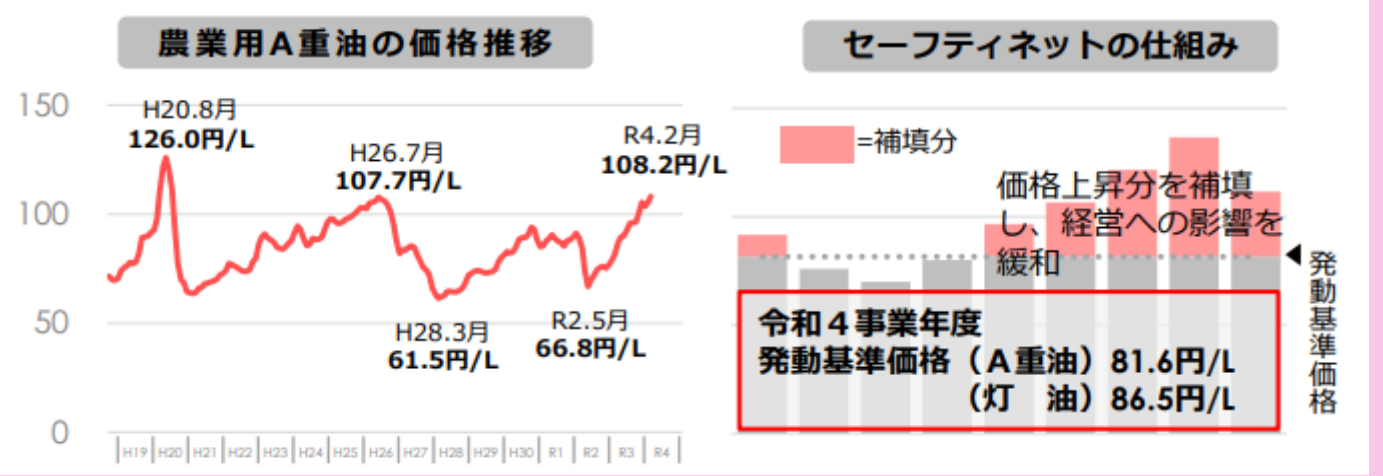
- (1) 対象者：A重油2,300ℓ以上又は灯油2,500ℓ以上購入する市内に住民登録のある農家
(令和4年度に、5万円以上負担が増加する農家が対象)
- (2) 補助内容：令和4年4月から令和5年3月までの燃油購入量に応じた定率補助
- (3) 支援額： $(\text{平年価格からの高騰分} \times \text{購入数量} - 50,000\text{円}) \times \frac{1}{3}$
※令和5事業年度 施設園芸等燃油価格高騰対策に加入した場合 $\frac{1}{2}$

施設園芸等燃油価格高騰対策

国と生産者が1：1で積み立てを行い、燃油価格高騰時に補填金が支払われる制度

対象：施設園芸農家3戸以上または農業従事者5名以上で構成する農業者団体等

要件：3年間で燃油使用量を15%以上削減する計画(省エネルギー等推進計画)の作成



物価高騰等に直面する事業者支援

米粉等利用拡大支援事業

補正額：4,000千円

円安やウクライナ情勢の影響を受けている小麦粉の代用原料として、唯一自給可能な米を原料とした商品の開発から生産段階における取組を支援します。

【事業内容】

- (1) 対象者：市内の食品の加工・製造を行っている事業者
- (2) 補助内容：①米粉等商品開発支援 ②米粉等商品生産支援
- (3) 支援額：①開発費実費の10/10 100,000円（上限）
②商品に使用する米粉等の小麦粉との価格差の2/3相当額
- (4) 要件：福島市産の米粉等を2割以上使用した商品であること

区分・内容/対象期間		R5. 1月～3月	R5. 4月以降
①米粉等商品開発支援 (新規商品)	原材料費、デザイン費、 PR費用など	1月1日以降開発したものを支援	支援継続 の予定
②米粉等商品生産支援 (既存・新規商品)	米粉等を使用した量に応じ 価格差の2/3相当額を補助	1月1日以降生産したものを支援	

NO.

2

新型コロナウイルス感染症対策
(感染防止対策・コロナ後を見据えた変革)
追加

2億9,900万円

(単位:千円)

事業費合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
299,000	166,395	—	—	132,605

※一般財源は繰越金

感染防止対策

第8波に備えた検査・医療費の追加

補正額：292,000千円

今後予見される第8波へ備えるため、医療機関が実施するPCR等の検査費用、入院措置にかかる医療費を追加します。

【医療機関でのPCR検査等】

当初想定 90,000件 → 160,000件分
補正予算額：196,000千円
累計予算額：412,000千円

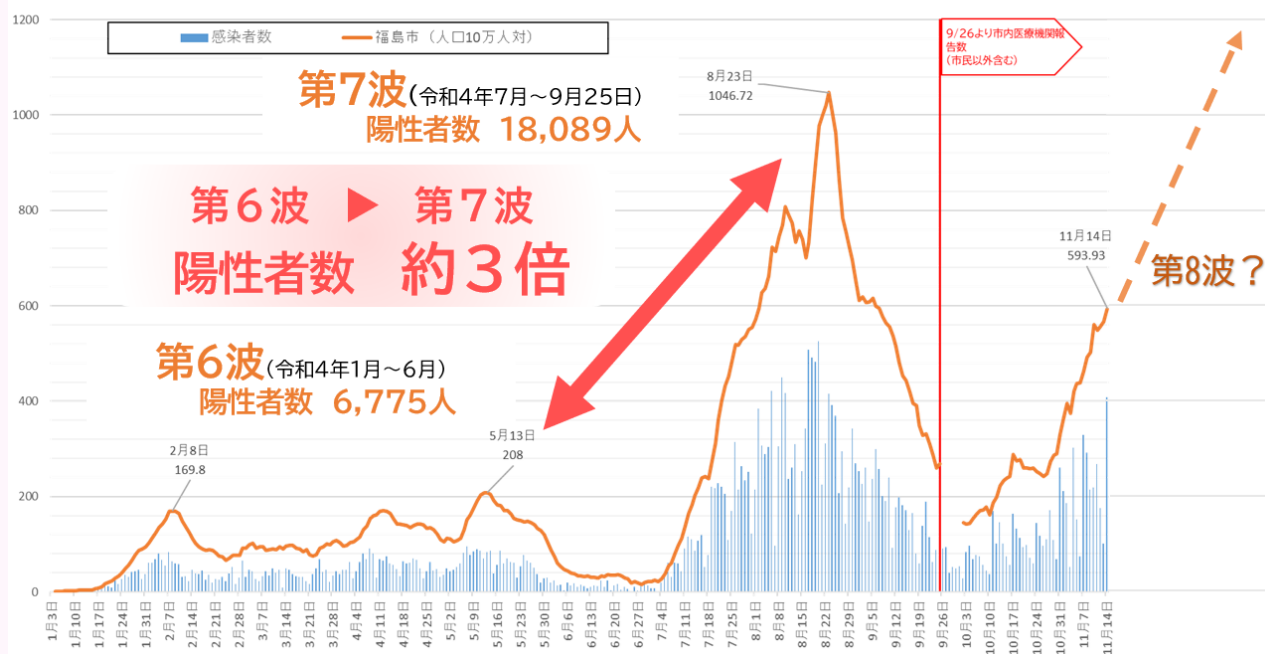
【入院医療費】

(1人あたり入院平均日数 約9日)
当初想定 800人 → 2,200人分
補正予算額：96,000千円
累計予算額：176,080千円

新型コロナ・インフル同時流行に備えよう！

早期のワクチン接種にご協力を！

福島市の感染状況(第6波と第7波の比較)



当初予算で備えていた件数ベース

オミクロン株により、全国的に過去最大の感染拡大

コロナ後を見据えた変革

シェアサイクルの拡充

コロナ禍で利用が増えているシェアサイクルを、燃料費高騰等による移動手段の転換も見据えて拡充し、まちなかの移動の利便性を向上します。

(サービス拡充経過)

R4. 3月
7月

支払い方法にキャリア決済を追加
サイクルポートを3か所追加 (計15か所)
現金精算機のプラン追加 (1回券など)

(予定) R5. 7月

ポート数3か所追加 台数20台増

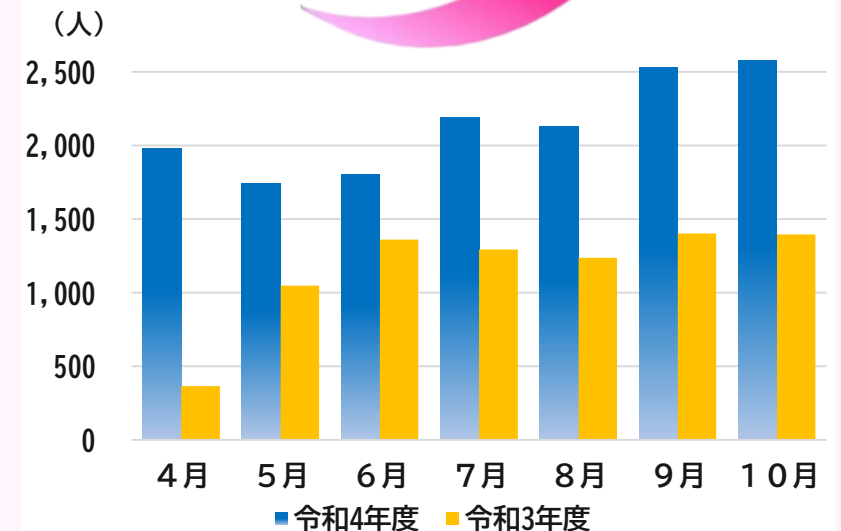
補正額：7,000千円



利用増

【スケジュール (予定)】

区分	R5.1月	R5年2月～6月	R5.7月
シェアサイクル 拡充 (20台増)	 自転車 発注 15か所 50台で稼働	 ※新型コロナウイルスの影響により サプライチェーンが停滞 納期までに半年程度必要	 18か所 70台 利用可能 ポート数：15か所から18か所へ 台数：50台から70台へ



NO.

3

令和4年3月16日福島県沖地震対応関連
(追加) 20億9,200万円

(単位:千円)

事業費合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
2,092,000	1,040,000	10,800	—	1,041,200

※一般財源のうち、832,000千円は特別交付税

※令和4年福島県沖地震対応関連予算

累計予算額 64億4,107万円

災害等廃棄物処理費の追加

補正額：2,080,000千円

3.16福島県沖地震により被害を受けた被災家屋の公費解体費用等について、申請結果を踏まえ予算を追加します。

●被災家屋解体の申請状況

区分	公費解体	費用償還
当初想定	354件、525棟	131件、185棟
補正後見込み	484件、641棟	195件、252棟

当初想定 710棟
 予算額:3,003,000千円(R4.4月議会ほか)



実績見込み 893棟
 予算額:5,083,000千円

一部損壊住宅修理支援の追加

補正額：12,000千円

3.16福島県沖地震により住宅に「一部損壊」の被害が生じた世帯を対象に、日常生活に不可欠な部分の修理に20万円以上要した費用の一部を定額で補助する支援について、当初の想定を上回る申請が見込まれることから予算を追加します。(R5.2月受付終了予定)

●支援制度

区分	(罹災証明)	補助金額
一部損壊住宅修理	・一部損壊 (10%未満の被害)	100,000円 (定額)

当初想定 400件
 予算額:40,000千円(R4.4月議会)



実績見込み 520件
 予算額:52,000千円

NO.

4

その他

22億122万円

(単位:千円)

事業費合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
2,201,219	292,558	100,136	820,137	988,388

12誘導心電図の整備拡充

補正額：16,528千円

市が常時使用する全ての救急車（10台）に12誘導心電図伝送装置を配備し（現在3台）、リアルタイムに心電図を病院と共有して救急患者の救命率向上を目指します。

（県の補助金を活用）

【現在までの経過】

8/15 救急車3台に搭載し市内2病院と運用開始（県内初）

9/20 緊急カテーテル手術可能な市内7病院全てで運用開始



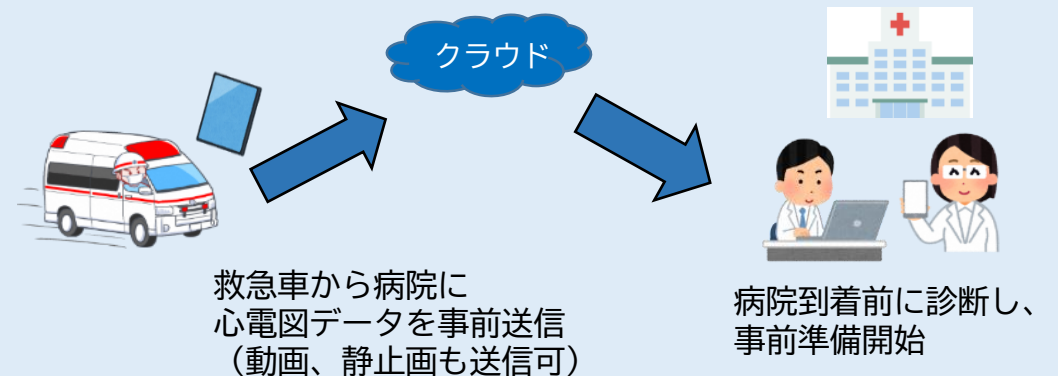
（救急車内部の様子）

【実証運用の結果（導入から3カ月）】

- ・病院への伝送件数（8月15日～11月14日） 66件
 - うち 急性心筋梗塞 7件
 - （うち緊急手術6件 後日手術1件）

手術を受けた結果は全員良好。
救命率向上に高い効果が実証された。

【12誘導心電図伝送のイメージ】



公立夜間中学開設に向けた準備

補正額：3,200千円

令和6年度の開校に向け、校舎となる第四小学校北校舎（総合教育センター）の改修設計に着手します。（令和5年度に校舎改修工事実施予定）

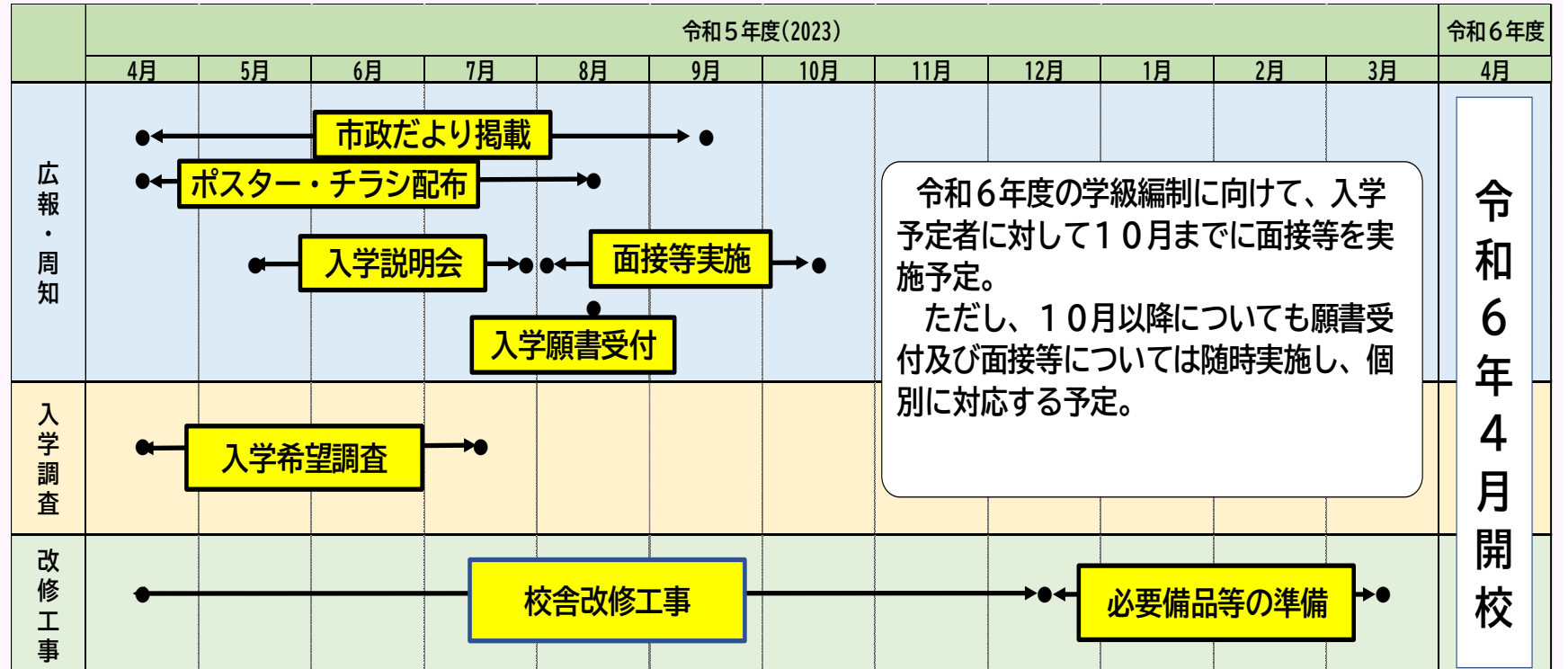
【内容】教室（3教室）、照明・電源改修等

●令和5年度スケジュール

●令和4年度

10月から1月31日まで
入学希望プレ調査実施中

11/14（月）
第2回公立夜間中学
説明会開催



ふるさとアグリBOXを使用した実証実験

～ふくしまから旬を込めて～

補正額：7,200千円

一度に多くの品目を楽しめるアソートBOXを使用した販売方法により、くだものの詰め合わせ（アソート）商品などのブランド化を図るため「ふるさとアグリBOX」を作製し、販売効果等の検証を行います。

また、規格外となってしまった農作物の販売促進を図るため、「アウトレットBOX」を作製しフードロス削減の推進と生産者の経営安定化を支援します。



【事業の内容】

◆ふるさとアグリBOXの作製
プロモーション

◆アグリBOXを使った実証実験
実際にBOXを利用する事業者などで組織する検証委員会にて消費者ニーズと販売効果等を検証する

スケジュール	令和4年度				令和5年度
	12月	1月	2月	3月	4月～R6.3月
ふるさとアグリBOXの作製	業者選定契約		BOX製作		
プロモーション			プロモーション準備		プロモーション

街なかにぎわい創出の基盤整備

街なか賑わい創出プロジェクトの活動基盤をネットワーク上に整備し、メンバーの活動・イベントの見える化、連携を促進することで、イベントの集客増や街なか賑わいづくりの一層の活性化を図り、街なかの賑わい創出に取り組みます。

【現在までの経過】

- 本年 7月 4日 街なか賑わい創出プロジェクトスタート【11団体】
- ～ メンバーの拡充・情報共有を促進 【11/14現在：41団体】
- 9月22日 市HPにイベントカレンダー公開
- 11月29日（予定） メンバー交流会

【事業の内容】

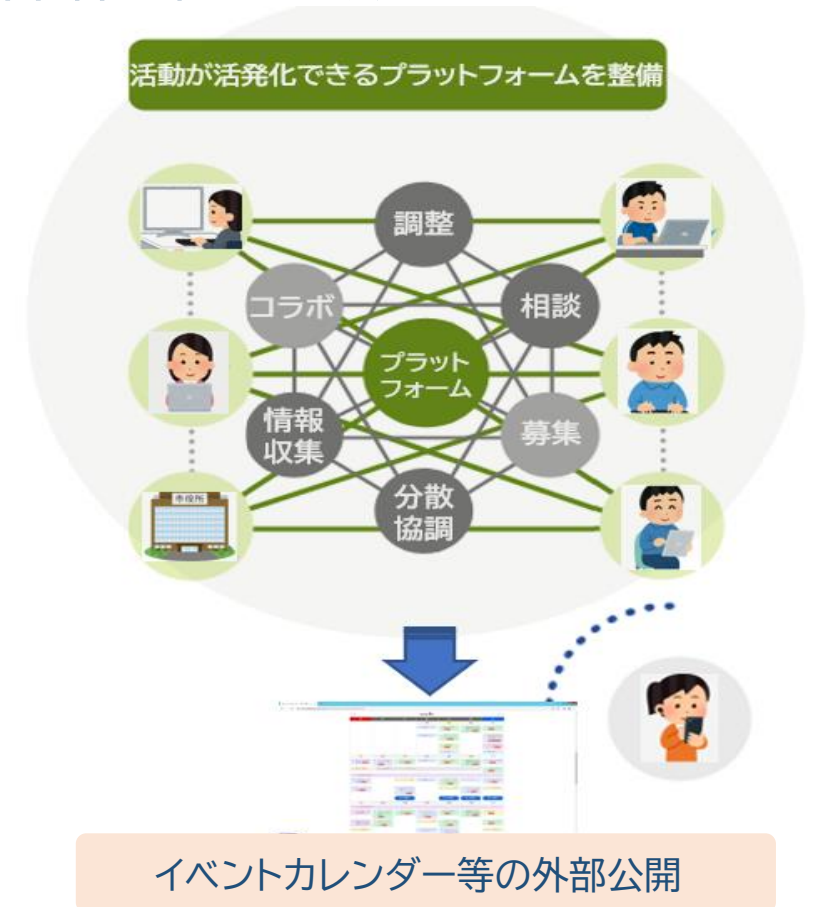
◆ システム構築・運營業務委託

※主な機能

メンバーチャット、イベント共有
 カレンダー等の外部公開

◆ システム運用開始 令和5年4月（3月より試験運用開始）

補正額：6,000千円



学力向上サポート ～図形領域の理解促進～

補正額：3,900千円

小学3年生の算数科において、木製のタングラムを取り入れた学習活動を行い、算数の図形学習に意欲的に取り組む環境を整えます。

【期待される効果】

- ①考える力が養える。
- ②達成感が得られる。→自己肯定感が育てられ、向上心をもたらす。
- ③図形感覚が豊かになる。→算数、数学科の図形問題が得意になる。



福島ふれあいパークのリニューアル

補正額：16,000千円

保健福祉センターへ健診に来られる親子の憩いの場や、近隣の児童により親しまれ利用される公園とするため、複合遊具と築山を設置します。

【スケジュール】

～ワークショップによる遊具の決定後、工事発注～
令和5年6月下旬完成予定



街路灯LED化推進

補正額：10,000千円

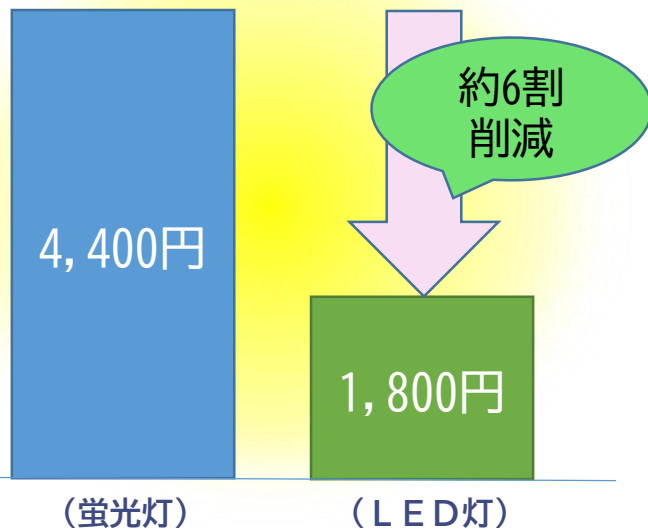
従来の街路灯と比較して電気料金が節減され、平均寿命の長いLED灯への置き換えを加速し、脱炭素社会の実現へ向けた取り組みを推進します。

【事業内容】当初計画の年間1,000灯から、200灯追加し、1,200灯をLED化

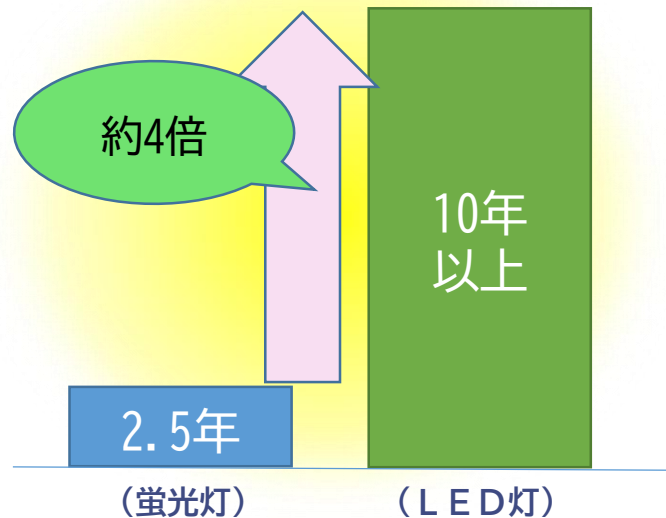
当初計画を2年前倒しし、令和9年度にLED化100%達成を目指します。

R3年度末 街路灯数
19,256灯
うち、LED
11,820灯 (61.4%)

1灯あたりの電気料金（年）



器具の平均寿命



(蛍光灯)



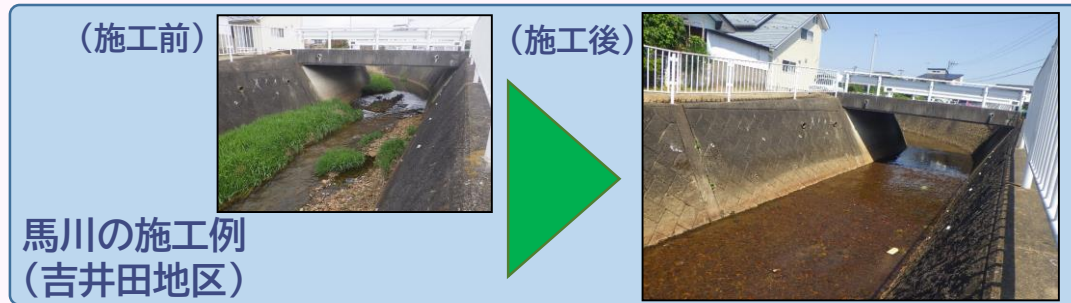
(LED灯)



河川土砂浚渫

補正額：40,000千円

大雨による浸水被害の発生を未然に防止するため、市が管理する河川・水路の浚渫を来年の増水期前に間に合うよう、前倒しして実施します。



(14河川で実施)

五十辺地区…猫渚川 東部地区…胡桃川
 渡利地区…小舟入川 北信地区…耳取川、渋川
 吾妻地区…内川、大堀川 松川地区…下浅川、町裏川
 飯野地区…境川 西地区…辰巳沢
 信夫地区…八貫川、松塚川、蛭川

障がい者支援サービス給付費の追加

補正額：300,714千円

障がい福祉サービスの利用者・利用件数が増加していることから、サービス給付費を追加し、生活を支援します。

●決算（見込み）の推移

令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度補正後予算
4,621,451千円	5,084,408千円	5,669,068千円	6,196,077千円 (対前年109.3%)

(障がい者自立支援事業費、児童発達支援事業費の合算)